

東北総合通信局組織図

東日本大震災復興対策支援室		東日本大震災からの復興支援
サイバーセキュリティ室		サイバーセキュリティの確保
コンテンツ適正製作取引調査室		放送コンテンツ製作取引適正化の推進等
防災対策推進室		情報通信技術を活用した防災及び減災のための対策の推進
総合通信相談所		情報通信行政全般に関する相談窓口
総務部	総務課	局の事務の総括・人事
	財務課	会計・契約・庁舎管理、電波利用料の債権管理・徴収業務
	企画課	広報・WEBサイト・報道機関窓口・信書便に関する許認可
情報通信部	電気通信事業課	電気通信事業の登録・届出等の手続及び資格者証の交付、e-ネットキャラバンの推進、電気通信サービスに関する相談
	情報通信連携推進課	情報通信分野における国・地域の連携推進、研究開発支援、ベンチャー企業支援、デジタルコンテンツ流通促進
	情報通信振興課	地方公共団体の地域情報化・ブロードバンドの整備支援
放送部	放送課	放送事業者の無線局の免許・検査、テレビ・ラジオの受信障害の相談
	有線放送課	ケーブルテレビ事業の許認可、共同受信施設等の設置
無線通信部	電波利用企画課	地域における電波利用の促進・調査、周波数の管理・公開、電波利用状況の調査・公表、電子申請の普及促進
	航空海上課	航空機及び船舶の無線局並びにこれらと通信をする無線局の免許・検査、無線従事者の免許・養成課程の認定
	陸上課	陸上関係無線局の免許・検査、重要無線通信の電波伝搬障害防止に関する手続・相談
電波監理部	電波利用環境課	高周波利用設備の許可、登録検査等事業者の登録・検査等、安全安心な電波利用の周知
	監視調査課	重要無線通信妨害対策、不法無線局の探査、電波の監査、違反無線局の探査、電波の発射状況調査、電波監視施設の整備



東北総合通信局

総務部総務課人事係

東北総合通信局

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku>



〒980-8795 仙台市青葉区本町3丁目2-23 仙台第2合同庁舎12階

TEL.022-221-0606



facebook.com/
tohoku.bt



X (旧 Twitter)
tohoku_bt



総務省
東北総合通信局
採用案内



安全・安心な情報通信環境を実現し、デジタルの力を東北の「活力」に

総務省は、情報通信、地方自治、行政評価や統計など、生活に直結する行政を担っています。
東北総合通信局は総務省の地方機関として、東北6県の情報通信分野を担当しています。
今、スマートフォン（携帯電話）やインターネットなどのICTサービスは、
私たちの生活にかかせないものとなっています。これらのサービスを都市部だけでなく
東北の地域全体で快適に利用できるよう様々な役割を担っています。また、テレビ・ラジオ等の
放送サービスや無線通信を円滑に利用できるように「電波利用のルール」を守り
トラブルを未然に防ぐ仕事も担当しています。
地域の抱える課題に、デジタルの力を活用してお手伝いする。
新しい東北を私たちと作ってみませんか。

デジタル変革（DX）を支える取り組み

携帯電話サービスやインターネットを快適に利用できる通信環境を、都市部だけでなく地域の隅々まで整備し、デジタルの力を地域の活力や生業に変えるお手伝いをしています。
また、大学や産業界と協力し最新の5Gサービスに続く新しい通信サービスを支える技術の研究開発や、ICTに関連するスタートアップを応援する取り組みを行っています。



免許状交付式



DX 関係省庁合同セミナー



ケーブル4K 展示会



農業分野のローカル 5G 活用

デジタルを活用した東北の課題を解決する取り組み

ICT利活用の成功事例等を紹介するなど、デジタルの力を広く活用いただくための取り組みを、自治体、企業、各種団体等と連携し実施しています。
地域課題に悩む自治体とICTの活用方策に詳しい企業をマッチングすることで、ICTサービスの実装を加速し、デジタルの力を地域ニーズに沿ったサービスとしてアップデートし活力ある地域生活や利便性の向上につながるお手伝いをしています。



SPARK! TOHOKU



ICT フェア



IoT 体験イベント



IoT 地域実装マッチング会

安全・安心で信頼できる情報通信環境を確保する取り組み

スマートフォン（携帯電話）やテレビ・ラジオ等の放送はもとより、住民の安全・安心を守る無線通信（警察、消防、防災行政、航空機や船舶の無線等）が円滑に使用できるように、妨害源の排除や違法な無線局を取り締まり、電波利用ルールの周知啓発を行っています。
ネット利用においても、サイバーセキュリティに関する理解を深める取り組みや人材の育成に取り組んでいます。また、子どもたちのインターネットリテラシー向上のため、「e-ネットキャラバン」と呼ばれる出前講義を行っています。



大規模国家イベントにおける電波監視



電波監視システム



e-ネットキャラバン



サイバーセキュリティセミナー

東日本大震災の教訓を活かした防災・減災の取り組み

東日本大震災の経験を活かし、災害が発生した時もICTサービスを利用できるよう、災害に強いICTサービスの実現に取り組んでいます。また、災害が発生した際には、被災地の復旧・復興に欠かせない無線通信を確保するために様々な設備を提供できるよう関係機関との連携を強化しています。



各県防災訓練



防災対策技術展



災害対策用通信機器



移動電源車

先輩からのメッセージ



ワークライフバランスに優れた職場です

私の担当業務は、主に陸上にある無線局の許認可です。その中でも、私は、警察や国土交通省などの国の機関や、鉄道・電力会社等の無線局の申請を処理しています。このような社会インフラを支える無線局の許認可に携われていることにやりがいを感じています。

私は理系出身のため、審査する際法律解釈に難しさを感じる場面もありますが、上司にいつでも相談できる環境や各種研修制度が整っており、安心して働くことができます。

また、勤務地は3.4年目の本省勤務を除くと仙台となっております。ライフプランが立てやすい点が魅力です。と言っても、東北6県を管轄しているので、仙台だけでなく東北の様々な地域で職務にあたることも多く、新たな東北の魅力を発見できます。さらに、当局はWLBを推進しており、プライベートでは自分の趣味に没頭したり、休暇を取得し旅行したりと、定期的に息抜きをすることで、日ごろの業務にも集中して取り組むことができます。

入局前後でギャップを感じることはなく、当局を選んでよかったと感じる毎日です。東北総合通信局で皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています！

無線通信部 陸上課
令和6年4月採用
事務官 理学部出身



文系でもICT施策に携われます

私は現在放送課に所属し、主にラジオ関係の許認可・補助金等の業務を行っています。本省勤務を経て東北局に帰ってきた今、本省側で決定した通達や施策の意図と事業者側が進みたい方向性をよく吟味し、地方局職員として、最大限東北地域に利する行政サービスを展開できるよう日々努力しているところです。

総合通信局というと理系の職場というイメージが強いかもしれませんが、私含め様々なバックグラウンドを持った職員が在籍しています（私は文学部出身です！）。ご自身の出身学部等にとらわれずに業務説明会や官庁訪問へご参加いただき、少しでも東北総合通信局の魅力を知っていただければ幸いです。皆様と一緒に働ける日を楽しみにお待ちしております！

放送部 放送課
令和2年4月採用
事務官 文学部出身



「総合通信局マスコット
・デンパ君」



私たちの日常を守る電波監視

不法・違反無線局の発射する電波は、携帯電話や消防・救急などに使われる重要な無線を妨害する可能性があります。私が所属する監視調査課では、それを防ぐために電波監視をし、不法・違反無線局の確認ができれば取り締まりをして排除・是正に努めています。もし、妨害が発生してしまった場合は、速やかに発射源を特定し排除します。また、電波監視に必須である、電波監視システムや測定器などの保守管理もしています。

法令も含め電波に関する知識は必要になりますが、経験豊富な先輩方が丁寧に教えてくれますし、研修もありますので、入局してから、十分知識を身につけることができます。また、外部の機関（捜査機関、他省庁、地方自治体、企業等）と連携した活動は知見が広がって楽しいと思います。

業務説明会で、先述した電波監視システムを見られる会もありますので、少しでも気になった方はぜひ参加してみてください。その際に当局で働く人の雰囲気を感じて、皆さんが就職先を選ぶ際の判断材料の一つにいただければ幸いです。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

電波監理部 監視調査課
令和5年10月採用
技官 工学部出身



情報通信をとoshた社会づくり

私は現在、電波利用企画課に所属し、企業や大学を訪問し、電波利用に関する相談会の開催等を行っています。地域のお悩み事を利用者から直接聞き、総務省として出来ることを考える、地方局ならではの業務でやりがいを感じています。

本省勤務時には、全国の重要通信の確保に関する業務を行っていました。災害時には、重要通信の被害状況のとりまとめ等を行っていましたが、業務を通じて、通信インフラは電気やガス等と同様、国民生活に必要不可欠な基盤であることを改めて認識しました。

「情報通信」という分野の中で、幅広い業務に携わりながら、東北地方のより安全で豊かな社会づくりに貢献できることが当局の魅力だと思っています。是非、一度説明会に来てみてください！

無線通信部
電波利用企画課
平成31年4月採用
事務官 教育学部出身



「電波利用マスコット・
電波りようちゃん」



QUESTION



Q

採用はどのように
決定されるのでしょうか？

国家公務員採用一般職（大卒程度試験）「行政東北地域」、「技術系全区分」又は「教養東北地域」一次試験合格の方を対象に官庁訪問を実施し、試験区分による区別はせず、人物本位での採用を行っています。

A

文系出身なのですが、
技術的なことに対応できるでしょうか？

Q

A

研修制度がとても充実しており、情報通信技術に関する知識は採用後の研修で身につけられるほか、配属先での業務内容に応じた研修が実施されていますので、情報通信をよく知らなかった人もスペシャリストとして活躍できます。

Q

採用人数は何名ですか？

年によって、人数は変動しますが、近年は毎年概ね5名程度採用しています。

A

転勤はありますか？

Q

A

勤務地は仙台市のみとなっており、基本的に転勤はありませんが、採用後3年目に2年間の本省勤務が予定されています。

Q

仕事と子育ての両立は可能ですか？

職員個々人の事情に合わせ、出産、育児に関する休暇制度等を利用しやすい職場環境を整備しております。職員のほとんどがこれら制度を活用しながら働いており、仕事と子育ての両立が可能です。

A



みなさんの疑問に
お答えします！



勤務時間について教えてください。

Q

A

勤務時間は8時30分から17時15分まで（1時間の休憩を含む）の7時間45分です。フレックスタイムも可能となっており、始業・終業時刻を変更している職員もいます。

Q

残業時間などについて教えてください。

A

残業（超過勤務）時間は局内平均月10時間以内です。年次有給休暇については大半の職員が取得しています。また、金曜日を定時退庁日としており、十分な余暇を確保できます。

Q

出張はありますか？

A

部署によっては、東北管内の地方自治体や大学等への訪問、無線局の検査、電波監視等の出張があります。

Q

配属先はどのように決まりますか？

A

毎年、職員から勤務・業務に関する希望調書を提出してもらい、適性等を勘案して総合的に判断して決めています。

Q

現職の職員が東北総合通信局を
志望した決め手を教えてください。

A

- ・携帯電話の許可など身近な情報通信分野に関わっていると感じたから。
- ・職員の雰囲気や自分が合っていると思ったため。
- ・勤務地が基本的に仙台のみで、ライフプランを立てやすいため。

など皆さんそれぞれの想いで当局を志望されています。